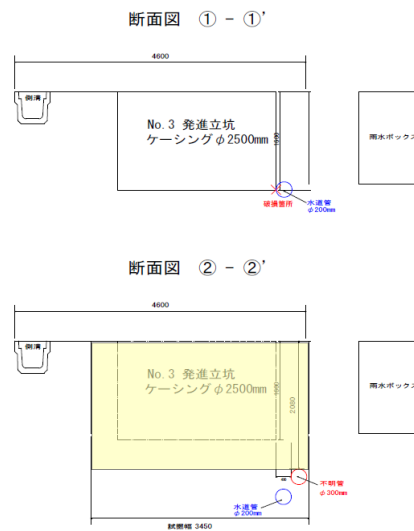
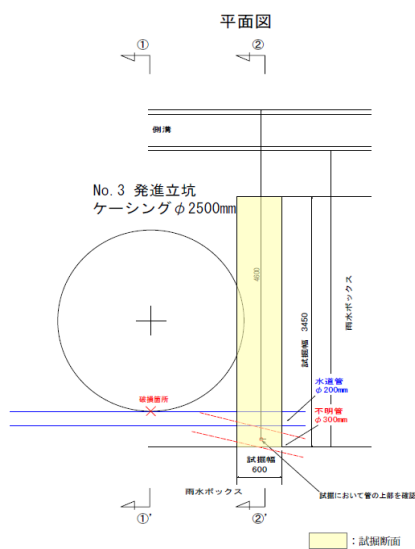


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 4月 1日(木曜日)11時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	埋設物破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	管布設工事(推進工)						
事故概要	発進立坑築造のためケーシング圧入掘削を行っていた時に、ケーシング先端が既設水道管(φ200mm)に接触し、これを破損させたもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・試掘を行った際に既設水道管φ200mmの十分な確認を行わず、近接して残置されていた竣工図面にはない不明管を既設水道管と誤まって認識したまま、実際はケーシングの設置箇所と重なっていた既設水道管にケーシングの刃先を接触させた。 ・不明管の形状や口径が既設水道管と似ており、残置されていた箇所も既設水道管に近接していたが、試掘の際に埋設状況を正確に把握できていなかった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設管部分だけの試掘でなく、立坑設置箇所全体の試掘を着手前に行い、地下埋設が無い事を確認する。 ・近接箇所の埋設物は、想定法線や図面での確認でなく、試掘により実際の埋設物全体を目視確認する。 ・杭や鋸を用いて、地下埋設物の位置を地表に明示し、作業者全員が危険箇所の把握ができるようにする。 						

事故状況図



改善状況図

【事故再発防止会議】

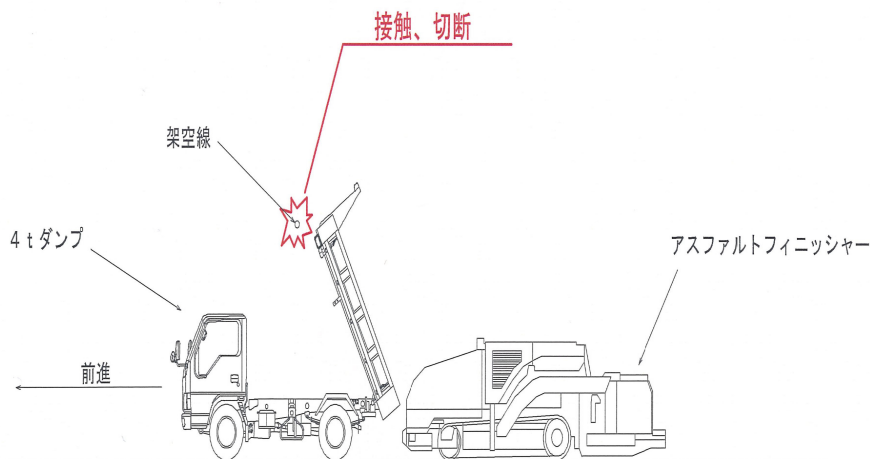


工事名	
工種	掘削
地点	

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 4月 6日(火曜日) 15時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	インターネット回線(BBIQ)、固定電話回線を切断		事故レベル	I		休業見込日数	—
工事概要	管布設工事						
事故概要	本復旧施工中、ダンプトラックの荷台に積んだ合材をダンプアップ状態で前進した際に切断。						
事故原因	近接施工時における注意喚起・指示等が不十分であったため。(支障物である架空線の高さを把握せず、ダンプトラックをダンプアップした状態で発進させた)						
改善策	ダンプトラックのダンプアップや、バックホウの作業等、高さに気を付けるべき作業が発生する際は、作業前に支障物となる架空線等の位置確認を事前にしっかり行い、注意喚起を促すのぼり旗を設置する等、安全対策の徹底に努める。また、作業中は監視員による注意喚起を徹底し、事故防止に努める。						

事故状況図

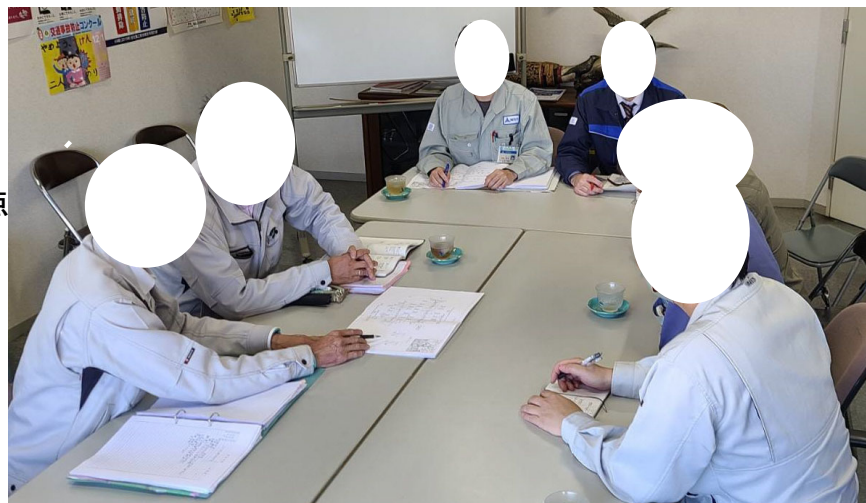


改善状況図

事故再発防止研修

研修内容

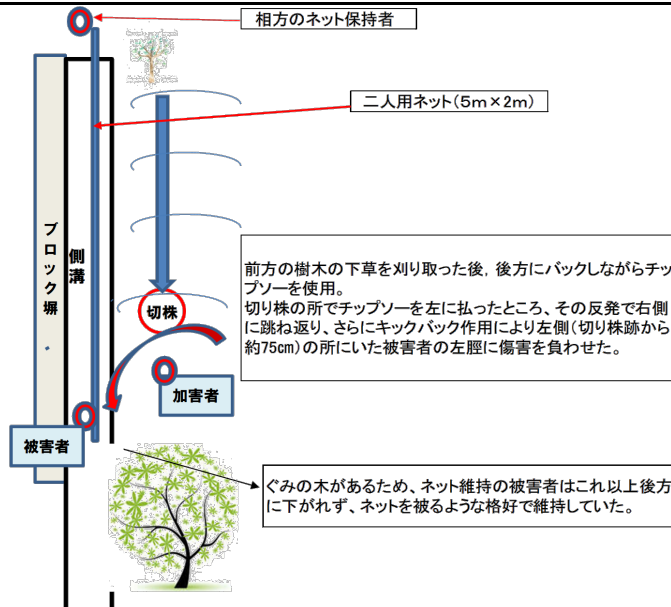
- ・事故の原因及び反省点
- ・再発防止対策の確認



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 3年 4月 9日(金曜日) 8時36分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	69	業種区分	土木
被災程度	左脛裂傷			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	20日
工事概要	除草作業						
事故概要	刈払い機を用いて除草作業を行っていたところ、草に埋もれた切り株に刃が当たったことによるキックバック減少により、飛び石防護ネットを持っていた作業員の左脛に刃が当たり裂傷を負ったもの。						
事故原因	機械作業前の安全確認(事前に切株や突起物等の有無の確認)を徹底していなかった。切り株等のある個所はチップソーではなく、カルマーを使用選択すべき箇所であったが、チップソーを用いたためにキックバック現象がおき事故につながったもの。また、ネット支持者と機械作業者の距離が近すぎたことも一因である。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業前に支障物の確認をすることを再度徹底する。 安全第一で作業をするよう指導するとともに、飛び石防護ネットと作業員の距離が十分に確保できないときには、作業員が防護ネットを保持するのではなく、自立するネットの使用またはネットを樹木や構造物に固定し、作業をする方法も選択できるようにした。障害物がある場所においては、チップソーではなく、カルマーを選定する。 						

事故状況図



改善状況図



防護ネットの固定

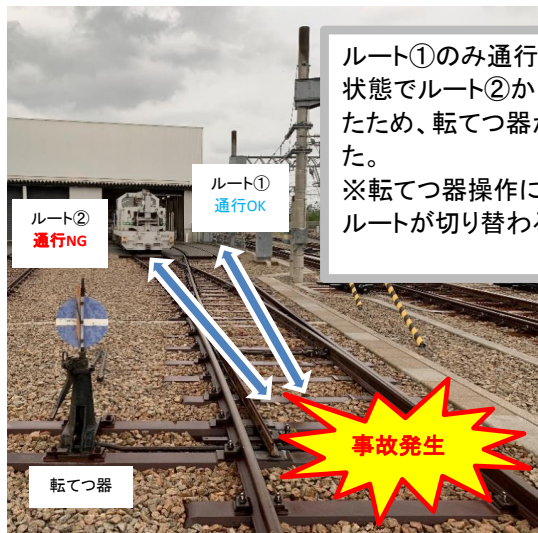


カルマーの利用

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和3年 4月 5日(月曜日) 3時 38分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	転てつ器損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	電線路設備工事						
事故概要	保守用機械を走行した際に、転てつ器が誤った方向のまま保守用機械を侵入させてしまったため、転てつ器が損傷したもの。						
事故原因	作業者が転てつ器の開通方向の確認を失念しており、転てつ器が誤った方向のまま保守用機械を侵入させてしまった。						
改善策	再発防止教育により、作業者に対して規程の遵守、基本動作の再徹底の意識向上を図るとともに保守用機械が転てつ器に侵入する場合は、必ず開通方向の確認を行うことを指導徹底した。						

事故状況図

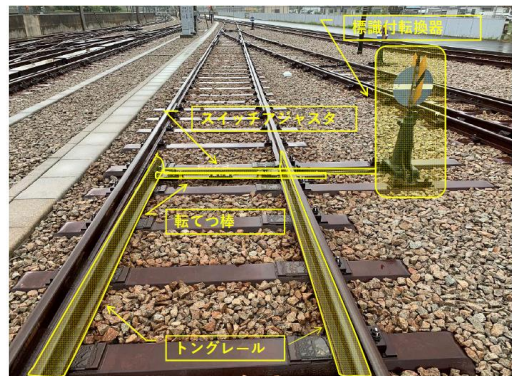


事故発生状況

ルート①のみ通行可能な状態でルート②から侵入したため、転てつ器が損傷した。
※転てつ器操作により、ルートが切り替わる。



保守用機械



交換部品

改善状況図



再発防止教育



保守用機械が転てつ器に侵入する場合は、必ず開通方向の確認を行うことを指導徹底した。

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 3年 4月 8日(木曜日) 10時30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ケーブルさや管(FEP管φ80、直径約10cm)損傷			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	除草						
事故概要	除草作業に際し、FEP管の存在は把握しており、これを損傷させないようナイロンカッターで作業を行っていたが、ナイロンカッターでは切れない草木が有った為、鋼製の刃を持つチップソーに変更し、FEP管に十分注意し一定程度浮かせて除草作業していたが、草に覆われて目視確認しにくかったことから、FEP管に接触し損傷させた。						
事故原因	FEP管の存在は把握していたが、草木に覆われ視認しづらい状況であった。視認しづらい状況下では、FEP管の位置を予め明示する等の措置を取っておく必要があった。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地表に配管等がある箇所の除草は、杭等を設置して位置を明示し、手刈りで作業することで、損傷防止の徹底を図る。 ・社内安全訓練に上記内容を追加し、周知徹底する。 ・配管まわりの除草の際は、朝の作業ミーティングで、配管位置を確認し、手刈りするよう作業員全員に周知徹底する。 ・社内作業マニュアルに、地表配管等の位置の明示及び手刈での除草作業を追記し、周知徹底する。 						

事故状況図



除草作業状況



損傷状況

改善状況図



障害物エリアの明示

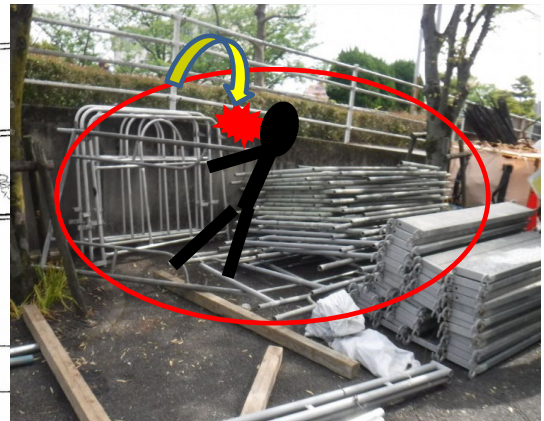
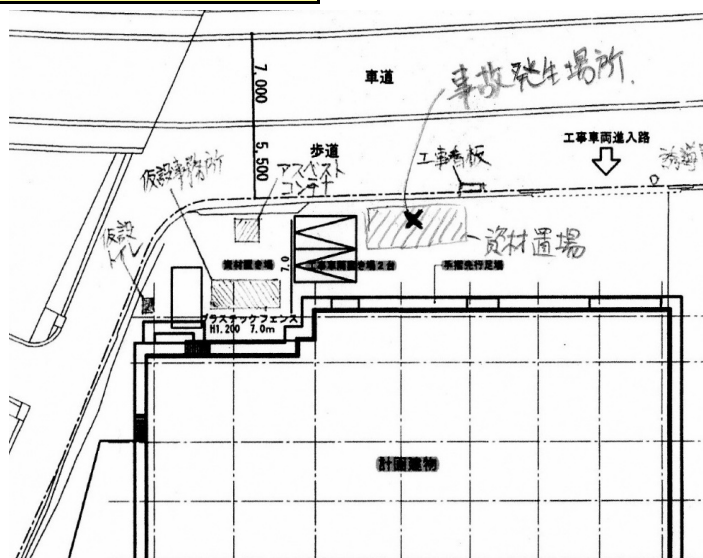


ミーティングにて周知徹底

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和3年4月23日(曜日) 9時20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	倒壊	性別	男性	年齢	35	業種区分	建築
被災程度	唇の裂傷(4針)			事故レベル	I	休業見込日数	1
工事概要	外壁改修工事						
事故概要	積み重ねていた足場材の荷ほどき作業中、足場材が倒れてきて作業員の顔面に接触した。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・足場材が不安定な状態で置かれていた。 ・足場材周辺に避難スペース無かった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・工所用資材は安定した状態で仮置きすること、及び、資材の荷ほどき時には資材が崩落しないよう注意を払うことを徹底する。 ・仮置き資材周辺に作業員が安全に退避できるようなスペースを確保する。 						

事故状況図



資材がバランスを崩し作業員と接触した現場状況

改善状況図



工所用資材仮置き方法の改善状況



資材周辺におけるスペース確保状況